

中学部 国語科 学習指導案

日 時：令和6年7月10日（水）
9：40～10：30
場 所：生活単元学習棟 集会室
対 象：Dグループ 4名
授業者：萱部 沙紀

1 題材名 『附特ライター』で、目的に応じて内容を決めたり、自分の考えが伝わりやすい書き方を考えたりして文章を書こう

2 生徒の実態

生徒の実態	
H	<p>【一般的な実態】 CA：14</p> <ul style="list-style-type: none">・スケジュールと時計の時刻を見て学習に必要な物を準備して教室を移動する。・タブレット端末を使って言葉の意味や文章を書くために必要な情報を調べて、メモをする。 <p>【指導方法に関わる実態】</p> <ul style="list-style-type: none">・取り組む内容を伝えると、次々と課題に取り組む。・課題解決の道筋や解決のための整理の仕方を図やイラストで示すと、自分で図を表しながら類似した課題に取り組む。 <p><学びに向かう力・人間性等></p> <ul style="list-style-type: none">・前題材や前時までに学習した内容を振り返りながら課題に取り組む。・自分の意見と友だちの意見に違いがあるとき、自分の考えを友だちに説明したり、友だちの意見を取り入れたりして課題に取り組む。 <p>【本題材に関する実態】</p> <p><知識及び技能></p> <ul style="list-style-type: none">・報告する文章を書くときに必要な事柄を尋ねると、「したこと」「僕が思ったこと」「はじめて知ったこと」「お礼」の事柄を挙げる。・案内する文章を書くときに必要な事柄を尋ねると、「日にち」「何をするか」「服装」「時刻」「場所」の事柄を挙げる。 <p><思考力・判断力・表現力等></p> <ul style="list-style-type: none">・授業で取り組んだ交通安全教室についての報告文を書くように伝えと、「自転車のルールを学びました。僕が思ったことは、自転車のルールを守らないと、3カ月くらいのちょうえきや、5万円を払わないといけないことを知って、気をつけないといけないと思いました。実さいに、自転車のルールを守りながらこぎました。久しぶりにのったので、あまり一人でのれませんでした。」と、学習したことや取り組んだ活動とそれらについての感想を書く。・小学部6年生に対し、中学部体験の案内文を書くように伝えと、「日にちは、12月10日の木曜日で、服そうは、体操服で、9時～12時10分、3年教室に集まってください。内容は、まず朝の会をして、中学部についての説明、…畑で学年作業をします。」と日時、服装、場所と順序立てた一連の活動を書く。

G	<p>【一般的な実態】 CA : 14</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スケジュールを見て次の学習に必要な物を準備したり、教師や友だちの誘いを受けて教室を移動したりする。
	<p>【指導方法に関わる実態】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動の内容や量を提示し、教師と一緒に取り組み方を確かめると、同様の考え方で最後まで課題に取り組む。 ・自分の考えを整理して書く課題では、書く内容を付箋に書き起こし、それらを並び替えて文章を書く。 <p><学びに向かう力・人間性等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・既習の学習と類似した課題では、前時までに学習した内容を見直しながら取り組む。 ・答えや考えたことを尋ねると、前に発表した友だちとの同異や答えに至るまでに考えたことを答える。 <p>【本題材に関する実態】</p> <p><知識及び技能></p> <ul style="list-style-type: none"> ・プラスチックごみの削減に向けた取組についての論説文で、筆者の考えが表されている箇所に線を引くように伝え、「買い物の時にエコバッグを使うことです。」の一文に線を引く。また、筆者の考えに対する理由が表されている箇所に線を引くように伝え、「年間 300 億枚のビニール袋が使用されているとされています。」の話題についての事実が書き表された一文に線を引く。 ・説明文を読んで形式段落に分ける時、文章の中で一文字分下がった文章のまとまりの文頭に①②などと数字を書いて分けることができる。 ・スーパーマーケットの工夫点が書かれた説明文の文章を短冊に分けて書いたものを提示し、内容が同じものでまとめ、それらが読みやすい構成にするように伝え、「調理場の工夫を表す文」「売り場の工夫を表す文」「配達の工夫を表す文」の3つの内容で分けて短冊をまとめた後、はじめに「話題提起」、中に「調理場の工夫」「売り場の工夫」「配達の工夫」、終わりに「まとめ」で構成する。 <p><思考力・判断力・表現力等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・フードロス問題に関する論説文を読んで、自分にできる取組を書くように伝え、「この問題にたいして私はごはんがすてられるんだと思いました。たべられるだけのごはんをついだりたのんだりしたいです。」と問題に対する感想と自分が考えた取組を書く。

3 題材目標

生徒	題材目標	学習指導要領の扱う内容
H	知	『附特ライター』で、原稿の内容を考える時、書く目的に対して必要な内容がわかり、事柄とそれらの具体的な内容を書き表す
	思	目的に応じて様々な文章を書く時、書く目的について考え、必要な情報を判断し、必要な内容を入れて文章を書く
	学	必要な内容を整理して、目的に応じた文章を書く
		<p>中学部 2段階</p> <p>B 書くこと</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>イ (ア) 考えとそれを支える理由など、情報と情報との関係について理解すること。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】</p> <p>ア相手や目的を意識して、見聞きしたことや経験したことの中から書くことを選び、伝えたいことを明確にすること。</p> <p>【学びに向かう力・人間性等】</p> <p>言葉がもつよさに気付くとともに、いろいろな図書に親しみ、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。</p>

G	知	『附特ライター』で、原稿の内容を考える時、事柄同士の関係がわかり、「はじめ」に話題とその説明、「中」に自分の考えと理由やその根拠となる情報、「終わり」に結論の構成になるように、事柄カードを並べる	中学部 2段階 B 書くこと 【知識及び技能】 イ (ア) 考えとそれを支える理由など、情報と情報との関係について理解すること。 【思考力・判断力・表現力等】 イ 書く内容の中心を決め、自分の考えと理由などとの関係を明確にして、文章の構成を考えること。 【学びに向かう力・人間性等】 言葉がもつよさに気付くとともに、いろいろな図書に親しみ、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。
	思	様々な話題についての自分の考えを書く時、書き表す内容について考え、わかりやすく伝えるための構成を判断し、「はじめ」に話題とその説明、「中」に自分の考えや理由とその根拠となる情報、「終わり」に結論の構成もしくは、一つ目の意味段落に話題とその説明、自分の考え、二つ目の意味段落に考えに対する理由やその根拠となる情報をまとめた文章を書く	
	学	必要な内容とその構成を整理して、様々な話題について自分の考えを伝える文章を書く	

4 題材計画 ※資料末尾にA3別紙で記載

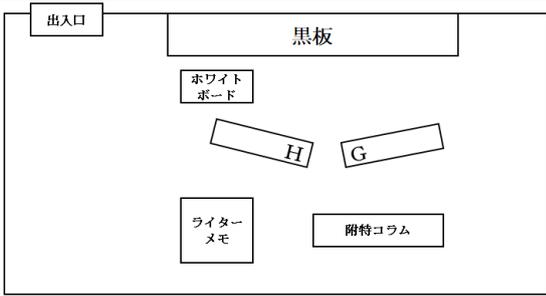
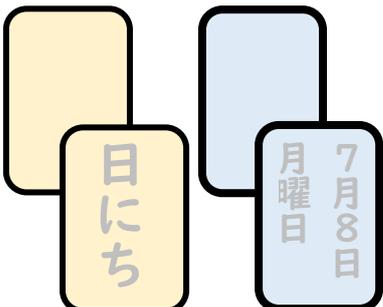
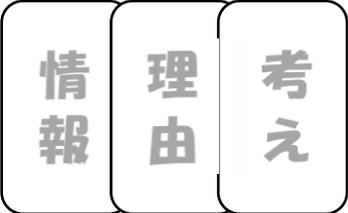
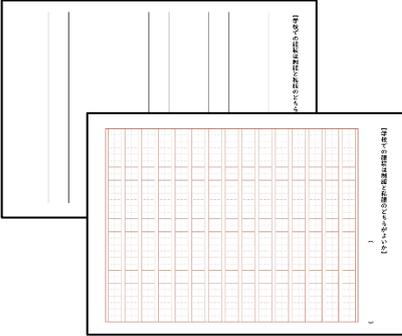
5 本時案 (全8時間の3時間目)

(1) 題目 『附特ライター』で、書く目的から必要な情報を考えてまとめたり、話題に対する自分の考えとその理由や根拠となる情報を考えたりして、文章を書こう

(2) 本時のめあてと評価規準

生徒	観点別の本時のめあて		評価規準
H	知	『附特ライター』で原稿の内容(受託販売の依頼文)を考える時、書く目的に対して必要な情報がわかり、ライターメモに作業学習での取組の説明、依頼内容とその理由、製品名と製品の詳細などの事柄とそれらの具体的な内容を書き、関連のある事柄と内容を線で結ぶ	「2. 展開」場面で、ライターメモに、作業学習での取組の説明、依頼内容とその理由、製品名と製品の詳細などの事柄とそれらの具体的な内容を書き、関連のある事柄と内容を線で結ぶ
	思	作業製品の受託販売の依頼文を書く時、書く目的について考え、必要な情報を判断し、作業学習での取組の説明、依頼内容とその理由、製品名と製品の説明などを入れて書く	「3. 発展」場面で、展開でライターメモに書いた具体的な内容を含んだ依頼文を書く
	学	A3資料「4 題材計画」に記述した具体的な姿が見られたかどうかで題材終了後に評価を行う	
G	知	『附特ライター』で原稿の内容を考える時、文や文章が表す内容同士の関係がわかり、学年作業を行う時間帯についての論説文を読み、文章中の筆者の考えやその理由と根拠となる情報の箇所に色を分けて線を引いた後、線を引いた箇所を線でつなぐ	「2. 展開」場面で、提示した文章の中の①筆者の考えを表している箇所、②その理由を表している箇所、③理由の根拠となる情報を表している箇所の内容を答え、それぞれに異なる色のペンで線を引き、①と②、②と③の箇所を線でつなぐ
	思	「学校での服装は制服と私服のどちらがよいか」についての自分の考えを書く時、書き表す内容について考え、内容同士の関係を判断し、話題に対する自分の考えと理由、根拠となる情報を書く	「3. 発展」場面で、話題についての自分の考えと理由、その根拠となる情報を含んだ文章を書く
	学	A3資料「4 題材計画」に記述した具体的な姿が見られたかどうかで題材終了後に評価を行う	

(3) 場面設定と準備物

<p>場面設定</p>		
	<p>意図と工夫点</p> <p>「2. 展開」場面と「3. 発展」場面のそれぞれの活動に取り組みやすくするために、教室の前方と後方で活動をする場所を分けて配置した。「2. 展開」場面では、教室の後方で依頼文に必要な情報をライターメモに書き出したり、論説文に含まれる内容を附特コラムから読み取ったりする活動を行い、「3. 発展」場面では、教室の前方で依頼文や話題に対する自分の考えを表す文章を書く活動を行う。</p>	
<p>準備物</p>		
		
<p>教具名：ライターメモ 意図と用途</p> <p>依頼するために必要な情報を友だちと話し合って整理できるように、事柄やそれらの具体的な内容を書き出し、関連のあるもの同士を線で結ぶために「2. 展開」場面で使用する。</p>	<p>教具名：附特コラム（論説文）・マーカーカーペン 意図と用途</p> <p>論説文を読み、その内容やそれぞれの内容の関係を読み取っているか確かめるために、論説文の中の文や文章に内容の違いで色を分けて線を引き、関係する箇所を線でつなぐために「2. 展開」場面で使用する。</p>	<p>教具名：事柄カードと内容カード 意図と用途</p> <p>書く目的に対して必要な情報を整理するための考え方を思い出せるように、事柄とそれらの具体的な内容をそれぞれ色分けしたカードに書き出し、関係のあるもの同士を線で結んで使用する。</p>
		
<p>教具名：内容カード 意図と用途</p> <p>論説文に含まれる内容の違いやそれらの関係を具体的に示すために、「2. 展開」場面で「考え」や「理由」「情報」などの内容の小見出しとなる言葉を書き、該当箇所にはって使用する。</p>	<p>教具名：タブレット端末 意図と用途</p> <p>「2. 展開」場面で整理した情報を書き表しやすくするために、「3. 発展」場面で依頼文を書くために使用する。</p>	<p>教具名：原稿用紙 意図と用途</p> <p>話題に対する自分の考えを文章で書き表せるように、「3. 発展」場面で話題に対する自分の考えや理由とその根拠となる情報などを書く。</p>

(4) 展開 ※資料末尾にA3別紙で記載

4 題材計画

生徒			一次	二次		三次						
	時数		1	2	3 (本時)	4	5	6	7	8		
H	知識・技能	場面	目的に応じて、様々な文章を書くことに興味・関心や見通しをもち、本題材の課題を知る	『附特ライター』で 原稿の内容（作業製品の販売会の案内状）を考える時		原稿の内容（受託販売の依頼文）を考える時						
		わかること		書く目的に対して必要な情報 に目を向け		がわかり						
		できた姿		事柄カードに日時、場所、製品について、作業学習の取組などを、内容カードに特定の日時と場所、製品の詳細（色、規格、用途、金額）、作業学習での取組の具体的な内容などを書き、関連のある事柄カードと内容カードとを線で結ぶ	ライターメモに作業学習での取組の説明、依頼内容とその理由、製品名と製品の詳細などの事柄とそれらの具体的な内容を書き、関連のある事柄と内容を線で結ぶ							
	思考・判断・表現	具体的状況		作業製品の受託販売の依頼文を書く時、	学校HPに掲載する、職場体験の報告文を書く時、	職場体験のお礼文を書く時、	附属中学校の生徒に対して、自分たちの学部の紹介文を書く時、	大分県の郷土料理についての説明文を書く時、	地域の人に対して、附属四校園の交流について紹介文を書く時、			
表出像		作業学習での取組の説明、依頼内容とその理由、製品名と製品の説明などを入れて書く		日時や場所、体験したこと、それらを通して感じたことなどを記入して書く	体験したこととそれらを通して感じたこと、今後取り組んでいきたいこととその理由、お礼の言葉などを入れて書く	書く目的について考え、必要な情報を判断し、学部の学級編成、校外学習や学習発表会などの行事や生活単元学習や作業学習などの授業の説明などを入れて書く	料理名や料理の特徴、歴史や由来、作り方などを入れて書く	四校園の簡単な説明や取り組みの内容とその詳細などを入れて書く				
主体的な姿	粘り強さ	<input type="checkbox"/> 友だちに自分の考えを伝えたり、自分と友だちの意見を比較したりして書く内容を決める ^展 <input type="checkbox"/> 自分が書いた文章を読み返したり、必要に応じて書き直したりする ^発 <input type="checkbox"/> 学習した内容を、教具などを使って友だちや教師に伝える ^終										
		学習調整	<input type="checkbox"/> 必要な内容を整理して、目的に応じた文章を書く ^展 ^発									
G	知識・技能	場面	相手に自分の考えを伝えるために必要な内容と、伝わりやすい構成で文章を書くことに興味・関心を持ち、本題材の課題を知る	『附特ライター』で 原稿の内容を考える時			『附特ライター』で 原稿の内容を考える時					
		わかること		文や文章が表す内容同士の関係 に目を向け			がわかり	事柄同士の関係がわかり				
		できた姿		『教科書のデジタル化』についての論説文を読み、教師が指し示す文章それぞれの内容について、筆者の考えやその理由、事例や体験、根拠などと答え、それらの箇所に教師と一緒に色を分けて線を引く、その箇所を線でつなぐ	『学年作業を行う時間帯』についての論説文を読み、文章中の筆者の考えやその理由と根拠となる情報の箇所に色を分けて線を引いた後、それぞれの箇所の内容を答えて線を引いた箇所を線でつなぐ		『消費税率の増減』についての論説文を読み、「はじめ」に話題とその説明、「中」に自分の考えと理由やその根拠となる情報、「終わり」に結論の構成になるように、事柄カードを並べる					
	思考・判断・表現	具体的状況		『学校での服装は制服と私服のどちらがよいか』	『食品ロスについて自分たちにできる取組』	『宿題は必要かどうか』	『救急車を有料にすべきかどうか』	『プラスチックごみを削減するための取組』	『地球温暖化の解決に向けて自分たちにできる取組』			
表出像		書き表す内容について考え、内容同士の関係を判断し、話題に対する自分の考えと理由、根拠となる情報を書く		書き表す内容について考え、内容のまとまりを判断し、「はじめ」に話題とその説明、「中」に自分の考えや理由と根拠となる情報、「終わり」に結論の構成で文章を書く	書き表す内容について考え、内容のまとまりを判断し、「はじめ」に話題とその説明、「中」に自分の考えや理由と根拠となる情報、「終わり」に結論の構成で文章を書く	書き表す内容について考え、わかりやすく伝えるための構成を判断し、「はじめ」に話題とその説明、「中」に自分の考えや理由とその根拠となる情報、「終わり」に結論の構成もしくは、一つ目の意味段落に話題とその説明と自分の考え、二つ目の意味段落に考えに対する理由やその根拠となる情報をまとめた文章を書く						
主体的な姿	粘り強さ	<input type="checkbox"/> 友だちと話し合って書く内容や構成を決める ^展 <input type="checkbox"/> 自分が書いた文章を読み返したり、必要に応じて書き直したりする ^発 <input type="checkbox"/> 学習した内容を、教具などを使って友だちや教師に伝える ^終										
		学習調整	<input type="checkbox"/> 必要な内容とその構成を整理して、様々な話題について自分の考えを伝える文章を書く ^展 ^発									

※「学びに向かう力・人間性等」については、「主体的に学習に取り組む態度」の項目で観点別学習状況の評価のみを記載する。個人内評価をする部分については、授業の振り返りや個別の教育支援計画等で実施し、今後に反映することとする

(5) 展開

学習活動	教師の意図と働きかけ	
	H	G
1. 本時の学習活動とめあてを知る。【導】	○本時の学習に見通しがもてるように、本時の学習活動の流れを板書で提示し、本時でも目的に応じて必要な情報を整理したり、話題についての自分の考えを伝えるための内容を考えたりして文章を書くことを知らせる。 ○本時のめあてがわかるように、前時の学習で学んだことを問いかけたり、本時の課題を確認したりしてめあてを提示する。	
2. 依頼文を書くために必要な情報を考えて書き出したり、自分の考えを伝えるために必要な内容を文章の中から読み取ったりする。【展】	○『附特ライター』の活動を始めることができるように、ライターメモや附特コラムを提示し、それぞれの活動に取り組むことを知らせる。 ○本時では作業学習の受託販売の依頼文の内容を考えることを伝えた後、ライターメモに必要な情報を書き出して整理することができるように、依頼文に必要な情報を書き出すことを伝えて様子を見る。作業学習での取組の説明や依頼内容とその理由、製品名と製品の詳細などの事柄やそれらの具体的な内容を書き出すことができた場合には、読み手や書く目的に対して必要な情報を考えることができたことを認め、事柄カードと内容カードを使って必要な情報を決めるための考え方を意味づけるとともに、書き出した事柄と関連のある内容を線でつなぐように伝える。 ・作業学習での取組の説明や依頼内容とその理由、製品名、製品の詳細などの具体的な内容が不足している場合には、読み手が必要とする情報や伝えるべき情報を決めるための考え方に目が向くように、事柄カードと内容カードを提示して書く目的を確認し、目的に対して必要な情報を考えるように伝える。 ○書く情報について、友だちと話し合いながら取り組めるように、自分と友だちの考えたことを比較するように伝える。自分と友だちの意見の同異について発言したり、ライターメモに書き出した情報を整理し直したりしている場合には、友だちと話し合っただけで依頼文に必要な情報を考えていることを認め、そのよさを伝える。 □友だちに自分の考えを伝えたり、自分と友だちの意見を比較したりして書く内容を決めているか (友)	○「学年作業を行う時間帯について」の論説文から、筆者が考えを書き表している内容とその関係を読み取ることができるように、読み取る箇所を視覚的に示して読むように知らせた後、それぞれの内容について問い、内容同士の関係性を線で示すように伝える。読み取った箇所それぞれの内容について、筆者の考え、筆者の考えの理由、理由の根拠などと答えてペンで色分けして線を引き、それぞれを線でつなぐことができた場合には、内容とその関係を読み取れたことを認め、自分の考えを伝えるために、内容を補足するよさを伝える。 ・筆者の考えと理由を書いている箇所の内容を筆者の考えと答えたり、理由とその根拠を書いている箇所の内容を理由と答えたりする場合には、文章が示す内容の違いに目が向くように、読み取る箇所を内容ごとに一つずつ示し、内容の違いについて問いかける。 ○論説文に含まれる内容について、友だちと話し合いながら取り組めるように、自分と友だちの考えたことを比較するように伝える。自分と友だちの意見の同異について発言したり、読んだ箇所の内容やその関係を整理し直したりしている場合には、友だちと話し合っただけで論説文に含まれる内容を読み取っていることを認め、そのよさを伝える。 □友だちと話し合っただけで書く内容や構成を決めているか (友)
3. 依頼するために伝える必要がある情報や、自分の考えを読み手に伝えるために必要な内容を整理して、文章を書く。【発】	○ライターメモで整理した情報や自分の考えを伝えるために必要な情報が整理できたら、作業製品の受託販売の依頼文や「学校での服装は制服と私服のどちらがよいか」についての論説文を書くことを知らせる。 ○ライターメモに書き出した事柄とそれらの具体的な内容を含む依頼文を書くことができるように、依頼文を書くように伝えて様子を見る。ライターメモに書き出した事柄やそれらの具体的な内容を含む依頼文を書いた場合には、ライターメモを提示して必要な情報を含んだ依頼文を書けたことを認め、それらの情報が含まれることのよさを伝える。 ○必要な情報が読み手に伝わる文章にするために、書いた文章を読み返すことを知らせる。自分の原稿を読み返したり、文章を書き直したりした場合には、自分が書いた文章を読み返して内容を見直したことを認め、そのよさを伝える。 □自分が書いた文章を読み返したり、必要に応じて書き直したりしているか (粘)	○自分の考えを理由やその根拠となる情報で補足して書き表せるように、話題を提示し、自分の考えを文章で書き表すことを伝えて様子を見る。考えとその理由、根拠となる情報を含む文章を書くことができた場合には、それぞれの内容を表している箇所を指し示して、文や文章の内容の違いやその関係を具体的に捉えていることを認め、そのように書き表すよさを伝える。 ・考えとその理由だけで自分の考えを書き表している場合には、考えを主張するために補足できる情報に気づくように、「学年作業を行う時間帯について」の論説文や友だちが書いた論説文と読み比べることを伝える。 ○自分の考えが読み手に伝わる文章にするために、書いた文章を読み返すことを知らせる。自分の原稿を読み返したり、文章を書き直したりした場合には、自分が書いた文章を読み返して内容を見直したことを認め、そのよさを伝える。 □自分が書いた文章を読み返したり、必要に応じて書き直したりしているか (粘)
4. 本時を振り返り、次時への意欲をもつ。【終】	○本時で学習したことへの理解を深めることができるように、依頼文に必要な情報の整理の仕方や自分の考えを読み手に伝えるために必要な内容について問う。事柄カードや内容カード、またはライターメモを使って必要な情報の整理の仕方について説明したり、論説文を示すなどして自分の考えや理由とその根拠となる情報についての内容を答えたりした場合には、必要な情報や内容が含まれることで、読み手に伝わる文章になることを伝え、本時の成果を認める。 □学習した内容を、教具などを使って友だちや教師に伝えているか (振)	□学習した内容を、教具などを使って友だちや教師に伝えているか (振)
	○次時での学習活動に見通しがもてるように、次時でも新たな目的や話題について必要な情報や内容を考えて文章で書き表す活動に取り組むことを知らせ、本時を終える。	